

## 県立病院における新型コロナウイルス感染症への対応状況について

### 1 診療・検査医療機関の設置

- 感染症指定医療機関を中心に対応
- これまでに本県で行われた検査のうち、約3割が県立病院で検体採取
- 県環境保健研究センターに搬送するほか、院内でもPCR検査機器及び抗原迅速診断キットにより検査を実施

### 2 医療提供体制の整備

- フェーズに応じた病床の確保（県内感染確認者のうち、約3割が県立病院に入院）
- 機器整備
  - ・入院機能の強化のため、簡易陰圧装置、人工呼吸器、エクモ等を整備
  - ・外来機能の強化のため、医療用テント、ポータブル一般撮影装置、HEPAフィルター付空気清浄機等を整備
- 質が高く効率的な医療の提供に向けた医療現場のデジタル化の推進
- 新型コロナウイルス感染症対応の強化を図るため、看護師を増員
- 患者を受け入れた病院の業務負担の軽減を図るため、県立病院間のネットワークを活用した円滑な業務応援を実施
- 入院患者に対する効果的な医療の提供（抗体カクテル療法、ネーザルハイフロー療法）

### 3 院内感染防止対策等の取組

- 院内検査体制の強化（術前検査等のため、PCR検査機器を南光病院を除く19病院に整備）
- 慢性疾患患者等の電話診療

### 4 感染症診療業務従事者への支援

- 医療従事者の宿泊施設の確保
- 特殊勤務手当の拡充

### 5 他の医療機関等への業務支援

- 県からの要請を受けて、県が設置している宿泊療養施設へ医療従事者を派遣
- 他の医療機関や地方自治体等からの要請を受けて、県内外の医療機関・宿泊療養施設へ医療従事者を派遣

### 6 新型コロナウイルスワクチン接種体制への参画

- 実施主体である市町村及び県からの要請を受けて、集団接種会場に医療従事者を派遣しているほか、県立病院・地域診療センターにおいて個別接種を実施